

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学看護学部では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 10 月 福島県立医科大学看護学部 療養支援看護学部門 大崎瑞恵

【研究課題名】回復期リハビリテーション病棟の退院支援における専門職の連携の構造と技術

【研究期間】 平成 27 年 10 月～平成 30 年 3 月 (2 年 6 ヶ月間)

【研究の意義・目的】

少子高齢化に伴う医療費や社会保障費の抑制のため、保健医療福祉サービスの構造や役割はめまぐるしく変化し、入院時から退院後の生活を見据えた退院支援の重要性はますます高まっています。一方、疾患による生活機能の低下や世帯構造の変化による介護力不足など、在宅復帰における複雑な課題を持つ患者の増加により、退院支援における多職種連携・協働が求められています。

しかし、退院支援に関する先行研究において重視され、多用される「連携」は漠然としたものであり、その概念や構造が明確に述べられているものは無く、機能分化してきた専門職がいかに連携・協働しているのか、また、どのようにあるべきなのか、具体的な行動や技術は明らかになっていません。多職種による包括的なサービス提供の質を評価し、より高めていくためには、現在の臨床実践場面における連携の構造と技術を明らかにすることが必要であると考えます。

本研究では、日々多職種により退院支援が行われる回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟とします）における連携について、その構造と技術を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

1) データ収集

(1) 回復期リハ病棟に勤務する専門職（医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、薬剤師、栄養士）を対象に、参加観察とインタビューによりデータ収集を行います。

(2) 日常の臨床実践場面やカンファレンスで観察された現象を正確に理解するため、診療記録や看護記録から患者さんの情報（年齢、性別、診断名、身体機能、認知機能、家族背景、治療方針・内容、退院に向けた方針、患者の意向、リハビリテーションの計画・経過、看護計画、社会資源活用のための調整）を付加データとして収集します。

2) 分析：参加観察とインタビューより得られたフィールドノートおよび逐語録から、連携の構造を看護概念創出法で、連携の技術を KJ 法により分析します。

【研究組織、研究機関名】

| | | | |
|-------|-----------------------|----|---------|
| 研究責任者 | 福島県立医科大学看護学部療養支援看護学部門 | 講師 | 大崎瑞恵 |
| 主任研究者 | 福島県立医科大学看護学部療養支援看護学部門 | 講師 | 大崎瑞恵 |
| 研究機関 | データ収集：一般財団法人 脳神経疾患研究所 | 附属 | 南東北福島病院 |
| | 分 析：福島県立医科大学看護学部 | | |

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学看護学部 療養支援看護学部門 担当 大崎瑞恵

電話:024-547-1851 FAX: 024-547-1851

E-mail:moosaki@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp